

治験啓発活動

～治験の必要性和新薬が生まれるまでのプロセスを学ぶ～

三重大学医学部附属病院 臨床研究開発センター

山村聖子(看護師臨床研究コーディネーター)



私たちの病気の治療に不可欠な「くすり」。いま、みなさんが普通に受けている治療は過去に誰かが治験や臨床試験に参加して下さった積み重ねで確立したものです。しかし、我が国の新薬(新治療)の導入は、欧米諸国に比べて約 1.5 年遅れていること(ドラッグ-ラグ)が問題になっています。

このような事態を打開するために厚生労働省は文部科学省と共同で 2003 年度から「治験活性化 3 カ年計画」、2007 年度からは新たに「治験活性化 5 カ年計画」を開始しています。三重県では 2003 年より、三重県(行政)、三重大学、三重県医師会・県内医療機関が連携・協力して治験を行う“みえ治験医療ネットワーク”(運営事務局:NPO 法人みえ治験医療ネット)を構築し、基盤整備や人材育成を行っています。また、2007 年度に全国 30 施設の治験拠点病院の 1 つに採択された三重大学病院は、より多くの方々に治験について知っていただくため、2009 年 1 月から地域住民向けの治験啓発活動を実施してきました。その活動内容は当院 CRC 等が関連病院に出向き、患者様や付き添いの方へパンフレットやパネル、ビデオを用いて治験の概要を説明し、治験の意識調査アンケートを実施しています。

2010 年 8 月時点で 13 施設、約 1850 人の方々に参加していただき、治験啓発活動の場を多施設に広げることで、より広い地域住民圏の方々に治験の正しい知識を普及できると共に、住民のニーズを直接収集できています。また、県や各施設の職員と意見交換をすることができ、県や各施設側の治験担当者に対する治験知識の向上につながります。この活動を今年度も継続し、アンケート結果から施設間又は地域間での治験認識度の違い等について解析し、より具体的な方法で地域住民の皆さんと知識を共有していきたいと考えています。



三重大学医学部附属病院 臨床研究開発センター <http://www.medic.mie-u.ac.jp/chiken/index.html>

みえ治験医療ネットワーク <http://www.mie-cts.net/>